

□ 要請番号 (JL55123Ba6)

募集終了

4

異文化理解を
促進する

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ザンビア	G182 小学校教育		個別	新規 3代目	1年	・ 2024/2 ・ 2024/3 ・ 2025/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ミセロカピカ初等学校

3) 任地 (中央州セレンジェ郡セレンジェ) JICA事務所の所在地 (ルサカ州ルサカ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 7.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

中央州セレンジェに位置する公立の初等学校で1～9年生(日本の小学校1年生～中学校3年生に相当)の生徒約830名が在籍している。生徒数が多いため2交代制で授業が行われている。配属先年間予算は約120万円である。2020年3月まで小学校教育隊員が約2か月間活動し、生徒の基礎計算力の向上に貢献、また日本文化の紹介なども行った。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ザンビアでは理数科教育の質向上、生徒の学力向上を目指しているが、初等教育で培われる基礎学力(読み・書き・四則計算)、数や図形などの概念の理解不足が、中等教育以降にも影響を及ぼしている。特に理数科目では概念理解のため、体験や副教材を活用した生徒の理解を促す教授法の実践により、生徒の理解度および学力の向上が期待されている。前任が取り組んだ視覚教材の導入による基礎計算力の向上のための取り組み継続、また同僚教員の教授力向上のため彼らと協力しながら授業を行い、教授法や授業計画の改善を共に実施するために後任隊員が要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

5～9年生(日本の小学校5年生～中学校3年生)の生徒を対象に、配属先同僚と共に以下に取り組む。

- 算数・理科科目の授業 (週12～18コマ程度、対象学年や科目、分量は赴任時の教員配置状況、隊員の得意分野などを踏まえて決定する。)
- 基礎計算力定着のための工夫及び同僚との指導法の共有
- 身近な材料を利用した教材の作成・利用による教材研究の手法や事例紹介
- 他の教育分野隊員と協働したワークショップ等の実施

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

- ・ 22名(20～50代男女)、主に5～9年生の理数科の教員と関わる

活動対象者:

- ・ 生徒約100～200名(5～9年生の生徒)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（教諭免許（校種・教科不問））

[学歴]：（大卒） 備考：教員として指導するため

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（実務経験）2年以上 備考：同僚への指導も含まれるため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（5～35℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水源]：（安定）

【特記事項】

赴任後、現地語学訓練(ベンバ語)を行う予定である。

【類似職種】

- ・数学教育
- ・理科教育

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。